



境内には、始祖である共保から直政まで、井伊家歴代の墓所がある。



龍潭寺

〔りょうたんじ〕

遠州の古刹 井伊直虎が眠る寺

##



御朱印

中央の丸い印は仏法、法堂、僧堂を表す三寶印。中央文字は御本尊虚空蔵菩薩から「虚空蔵尊」。右上には井伊家菩提寺、宗良親王菩提所の印。



井伊家歴代を祀る龍潭寺。寺伝によれば、その歴史は古く、奈良時代に行基によって開創され、平安時代から井伊家の菩提寺であったとされている。戦国時代には、井伊直平に帰依された黙宗瑞淵和尚を開山として迎え、永祿3年(1560)桶狭間で戦死した井伊直盛の戒名から寺号を「龍潭寺」に変えたといわれている。

また、龍潭寺第二世住職南溪和尚は直平の子という説もあり、井伊直虎を「女城主」として立てるなど、井伊家再興の陰の立役者として知られる人物だ。井伊家ゆかりの足跡は境内の至るところに点在し、直盛、直虎、直政をはじめとする井伊家歴代の墓をはじめ、赤地に「井」の記が描かれた籠など、井伊家拝領の



写真中：第20代武蔵宗南住職。本堂の廊下は驚張りで、歩くと「キュッキュウ」と独特の音が鳴る。

品も見ることができ。また、龍潭寺山門を出て南に進むと、井伊家初代共保が生まれたとされる「共保公出生の井戸」が残っている。その他、江戸初期に造られた国指定名勝「龍潭寺庭園(池泉鑑賞式庭園)」、国指定重要文化財「宋版錦繡萬花谷」、県指定重要文化財「遊樂之園」など、貴重な文化財が所蔵されている。悠久なる「井の国」の歴史とともに、井伊家の起源と繁栄を見守り続けてきた龍潭寺。井伊家を知る上で欠かせないので、できない名所だ。

りょうたんじ 龍潭寺

浜松市北区引佐町井伊台1989
☎053-542-0480
交/JR浜松駅から遠鉄バス
奥山行 約45分「神宮寺」下車
天竜浜名湖鉄道「金指駅」より
車で約5分
時/9:00~16:30
休/8月15日、12月22~27日
料/大人500円、小中学生200円
<http://www.ryotanji.com/>